

3号機燃料取扱用クレーンからの作動流体の漏えいについて

■ 概要

- 7月21日午前1時頃、3号機燃料取扱用クレーンの補巻にて、がれき撤去作業中、協力企業作業員が補巻先端部へ繋がるホースのリール部から作動流体（水グリコール）の漏えい（連続的な滴下）を確認したことから、がれき撤去作業を中断。作動流体供給停止後は数十秒に1滴程度の滴下に減少。なお、今回の漏えい箇所は燃料取扱機の不具合箇所とは異なる。
- 漏えいした作動流体は使用済燃料プール内へ流入したが、作動流体の水槽の水位低下が認められていないため漏えい量は少量であると推定している。

■ 今後の対応

- 7月24日から開始する設備点検期間中に当該箇所の詳細確認を行い修理予定。また、類似箇所の確認及び必要に応じて対策を行う。



クレーン（○部：補巻）



クレーン補巻（○部拡大）



リール部